

ISO45001:2018 が 2018 年 3 月 12 日に発行
附属書 SL が適用されています。
9001、14001 等、他のマネジメントシステムとの統合もしやすくなりました。

労働安全衛生マネジメントシステムの問題

- ①0災害の継続で、改善が少ない。
- ②安全衛生パトロールは、いつも形式的！
- ③リスクアセスメントは数字のお遊びで、事業で活かされていない。

働き方改革は、まさに労働安全衛生マネジメントシステムに取組むこと！

- ①働きやすい職場を確立し、必要な人材を確保する。
- ②社員のポジティブな思考を引き出せば、業務改善につながる。
- ③SDGs の広がりから、顧客の要求事項として拡大している。

ISO45001:2018 の早わかり

1. 労働安全衛生マネジメントシステムの意図した成果

規格の「0.2 労働安全衛生マネジメントシステムの狙い」にあります。
意図した成果は、「負傷・疾病を予防すること、安全で健康的な職場を提供すること」です。

2. 14のプロセス

必要なプロセスとして、14のプロセスの確立、実施、維持が求められています。これらをどのように確立するか、分かりやすくご指導します。

箇条 5.4 働く人の協議及び参加「協議及び参加のためのプロセス」

箇条 6.1.2.1 危険源の特定「継続的に先取りして特定するためのプロセス」

箇条 6.1.2.2 労働安全衛生リスク及び労働安全衛生マネジメントシステムに対するその他の機会の評価「評価するためのプロセス」

箇条 6.1.2.3 労働安全衛生機会及びその他の機会の評価「評価するためのプロセス」

箇条 6.1.3 法的 requirement 事項及びその他の要求事項の決定「次の事項のためのプロセス」

箇条 7.4.1 一般「内部及び外部のコミュニケーションに必要なプロセス」

箇条 8.1.1 労働安全衛生マネジメントシステムの要求事項を満たすため、及び箇条 6 で決定した取り組み「実施するために必要なプロセス」

箇条 8.1.2 危険源の除去及び労働安全衛生リスク低減「低減するためのプロセス」

箇条 8.1.3 変更の管理「変更の実施及び管理のためのプロセス」

箇条 8.1.4.1 一般「調達を管理するプロセス」

箇条 8.2 緊急事態への準備及び対応「準備及び対応のために必要なプロセス」

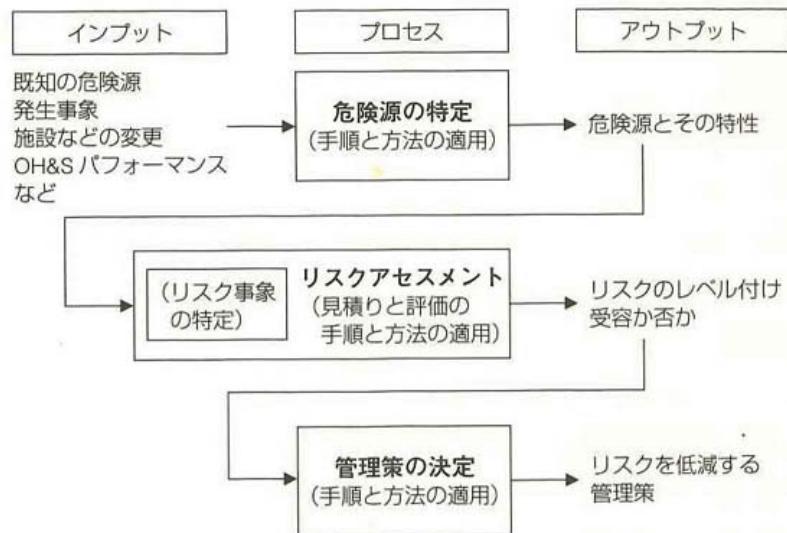
箇条 9.1.1 一般「モニタリング、測定、分析及びパフォーマンス評価のためのプロセス」

箇条 9.1.2 順守評価「順守を評価するためのプロセス」

箇条 10.2 インシデント、不適合及び是正処置「インシデント及び不適合を決定し管理するためのプロセス」

3. プロセスって何？

成果を出すために、使う情報(インプット)を決めて、どんな活動を行って望まれる成果を出すかを考えることです。リスクアセスメントプロセスは、次のようにになります。これを、14 のプロセスで検討することになります。



4. 労働安全衛生マネジメントシステムの全体像

ISO45001:2018 の全体像を図示しました。

これで自社にあったマネジメントシステムが構築できます。

